



大館市における授業の実際～国語編～

秋田県では、「問いを発する子どもの育成」を最重点の教育課題とし、授業づくりに取り組んでいます。今号では、国語科の授業を取り上げ、問いを発する子どもの様子を紹介します。

問いを発するとは

教育の土台として、安心して自分の考えを発言できる環境を整えています。

公の場で自分の考えを積極的に発言することができる子ども

問題を解決するプロセス

問題を発見する
(それはどうか?)

問題解決を振り返る
(こうしてみたがどうか?)

解決方法を見通す
(こうするとよいのではないか?)

問題解決を図る
(こう考えるがどうか?)

問題を発見し、他者との関わりを通して主体的に問題を解決していく子ども

「令和3年度 学校教育の指針」秋田県教育委員会から引用

学級活動や学校行事等を含む、日々の教育活動全体で、**問いを発しながら問題解決のプロセスを繰り返す**ことを重視しています。このことによって、問題解決能力の向上を図っています。

単元計画

時	主な学習活動	時	主な学習活動
1	俳句のきまりと読みの視点を確認する	3	俳句を鑑賞する①
2	読みの視点を意識して俳句を読む	4	俳句を鑑賞する②(本時)

第3学年「俳句を味わう」
〈教材：光村図書 国語3〉

本時の概要

付けたい力：「表現の仕方について評価する」能力(C 読むことウ)

【導入】

- 「作品のよさが分からない」という生徒の振り返りの記述を取り上げ、**よさや魅力は何か**という問いから学習課題を設定する。
- 既習の「読みの視点」を確認する。

【展開】

- 「読みの視点」を踏まえて、気付いたことを共有する。
- 気付きを基に、内容について**想像できること**を共有する。
- どのような孤独か**について、表現をもとに考えを深める。

【終末】

- 自分の考えた**俳句の大意とよさ・魅力**をまとめる。
- 「今後に生かせる読み方は何か」という視点で、学習を振り返る。

振り返り

今後に生かせる読み方は?

まとめ

俳句の大意+よさ・魅力

「字足らず」：人生に疲れている様子を表現しているのではないかと

「咳」：漢字表記から、重い病気がかかっているのではないかと

「も」：心配してくれる人が、誰もいない? 咳をしなくてもずっと一人なのでは?

「咳」：漢字表記から、重い病気がかかっているのではないかと

Q、どのような「孤独」か? 表現にどこまでこだわって考えよう。

想像できること

悲しい 寂しい
一人暮らし 周りに誰もいない
何をしていても一人しかない
咳が響く 場所は家? 病院? 森?
孤独を感じる。

気付いたこと

「も」が強調?
かなり字足らず。
季節がない? 冬?
「せき」が漢字で書かれている。

読みの視点

心情 季語
情景 定型
語句 表現技法

学習課題

この句のよさや魅力は何だろうか。

「俳句を味わう」 尾崎 放哉

生徒の振り返りの記述より

今回の俳句では、初めて5・7・5ではない俳句が出てきてびっくりしました。わざと字足らずにしていることや体言止めにするなどで、さびしさを強調していることに納得しました。

萩原指導教諭のつぶやき

秋田の先生方は、**生徒の実態**に応じた学習内容や学習課題の設定、発問を常に吟味されています。今回の授業のように、1単位時間で1首だけ取り上げることは少ないのではないかと思います。授業者の先生に質問すると、「**教えれば5分で終わることを、50分かけても生徒が自分たちで学ぶことが大切だと思っています。**」と教えてくださいました。自ら問いを発し、主体的に学ぶ生徒を時間をかけて育成していると感じました。

